

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-226272
(P2001-226272A)

(43) 公開日 平成13年8月21日 (2001.8.21)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード (参考)
A61K 35/64		A61K 35/64	4C087
31/194		31/194	4C206
A61P 3/02		A61P 3/02	

審査請求 未請求 請求項の数 6 0L (全5頁)

(21) 出願番号	特願 2000-41205 (P2000-41205)	(71) 出願人	000108339 ゼリア新薬工業株式会社
(22) 出願日	平成 12年2月 18日 (2000.2.18)		東京都中央区日本橋小舟町10番11号
		(72) 発明者	櫻井 英知 埼玉県大里郡江南町大字押切字沼上251 2-1 ゼリア新薬工業株式会社中央研究 所内
		(72) 発明者	内野 泰秀 埼玉県大里郡江南町大字押切字沼上251 2-1 ゼリア新薬工業株式会社中央研究 所内
		(72) 発明者	高橋 洋明 埼玉県大里郡江南町大字押切字沼上251 2-1 ゼリア新薬工業株式会社中央研究 所内

(54) 【発明の名称】 クエン酸及びローヤルゼリーを配合した内服液剤

最終頁に続く

(57) 【要約】

【課題】 クエン酸及びローヤルゼリーを配合した内服液剤を提供する。

【解決手段】 クエン酸又はその塩を 1 ~ 5 w/v% 配合し、さらにローヤルゼリーを配合した内服液剤であって、肉体疲労時用及び疲労予防用に有効に使用される。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-226318
(P2002-226318A)

(43) 公開日 平成14年8月14日(2002.8.14)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI		テ-マコ-ド [*] (参考)
A61K 7/00		A61K 7/00	C	4C083
			D	
			N	
	7/42	7/42		
	7/48	7/48		

審査請求 未請求 請求項の数 2 0L (全16頁)

(21) 出願番号	特願 2001-384557(P2001-384557)	(71) 出願人	591010376
(22) 出願日	平成 13年12月18日(2001.12.18)		バイヤースドルフ・アクチエンゲゼル シヤフト BEIERSDORF AKTIENGESELLSC HAFT
(31) 優先権主張番号	10063129.0		ドイツ連邦共和国デー-20245ハンブル ク・ウンナシュトラレーセ48
(32) 優先日	平成 12年12月18日(2000.12.18)	(72) 発明者	トーマス・ラシユケ ドイツ・22529ハンブルク・アイヒヘル ンヘンバーク6
(33) 優先権主張国	ドイツ(DE)	(74) 代理人	100060782 弁理士 小田島 平吉 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 表面活性をもったクエン酸エステルと粧品用および皮膚科用調合物 - リポ酸との活性成分の組合わせおよび該混合物を含む化

(57) 【要約】

【課題】 光線から皮膚を保護するのに有用な新規組成物の提供。

【解決手段】 (a) 飽和脂肪酸のモノグリセリドおよび/またはジグリセリドとクエン酸との部分的に中和されたエステル種の1種またはそれ以上、および (b) - リポ酸から成る組成物。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-284538

(P2003-284538A)

(43) 公開日 平成15年10月7日(2003.10.7)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI		テマコード(参考)
A23L 2/38		A23L 2/38	J	4B017
2/52		2/00	F	

審査請求 有 請求項の数 3 0L (全4頁)

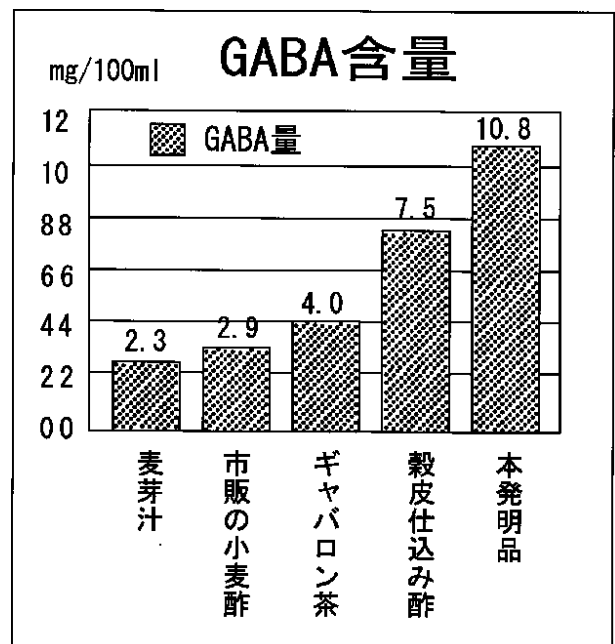
(21) 出願番号	特願 2002-98004(P2002-98004)	(71) 出願人	591100563
(22) 出願日	平成 14年3月 29日(2002.3.29)		栃木県
			栃木県宇都宮市埜田1丁目1番20号
		(72) 発明者	岩本 敏央
			栃木県栃木市菌部町3-17-20
		(74) 代理人	100095739
			弁理士 平山 俊夫
		Fターム(参考)	4B017 LC02 LC03 LG10 LK21 LP01 LP04 LP05 LP06 LP13

(54) 【発明の名称】クエン酸含有発酵飲料及びその製造方法

(57) 【要約】

【課題】 二条大麦、六条大麦等の麦を出発原料として、健康増進に資するクエン酸及びGABAを含有する発酵飲料及びその製造方法を開発する。

【解決手段】 本発明クエン酸を含有する発酵飲料の製造方法は、(a) 原麦を発芽させて麦芽とし、焙燥後、破砕し、水に浸漬後煮沸する工程と、(b) 該煮沸後の麦に黒コウジ菌を接種すると共に接種後の麦を10～30程度の通常より低い温度で製麹して糖類からクエン酸を生成する工程と、(c) 製麹した麹に約55の湯を加えて黒コウジ菌が生産したアミラーゼにより残されたデンプン質をブドウ糖や麦芽糖の糖類に分解する工程と、(d) ろ過、殺菌等の後処理を施す工程とから成る。



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-91442

(43) 公開日 平成16年3月25日(2004.3.25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テームコード(参考)
C07C 59/265		C07C 59/265	4B018
C07C 51/41		C07C 51/41	4H006
// A23L 1/304		A23L 1/304	

請求項の数 3 審査請求 未請求 0L (全7頁)

(21) 出願番号	2002258505	(71) 出願人	594148759
(22) 出願日	平成14年9月4日(2002.9.4)		小松屋化学株式会社
			和歌山県日高郡日高町萩原890番地
		(72) 発明者	稲葉 豊量
			和歌山県日高郡川辺町和佐1195番地
		Fターム(参考)	
			4B018 MD03 MD09 MF06 MF10
			4H006 AA01 AA02 AB84 AC47 BC51
			BE11 BE13 BN10 BS10

(54) 【発明の名称】 水溶性クエン酸マグネシウム含水塩およびその製法

(57) 【要約】

【課題】 水に易溶性で、例えば医薬品原料、マグネシウム強化剤、工業薬品原料、などの原料、あるいは中間体として優れた効果を発揮する、クエン酸マグネシウム含水塩及びその製法を提供すること。

【解決手段】 クエン酸の水溶液ないし懸濁液に金属マグネシウム又はマグネシウム塩類を添加して反応させた後、当該反応液を噴霧乾燥するか、減圧低温乾燥等によって粉末化、又は固化することによって得られ、25℃で水100mlに対する溶解度が20g以上であって、式： $C_{12}H_{10}Mg_3O_{14} \cdot x H_2O$ (x: 1~9の整数) で表されるクエン酸マグネシウム含水塩、及びその製法である。

【選択図】 なし

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-180567

(43) 公開日 平成16年7月2日(2004.7.2)

(51) Int.Cl.⁷ 識別記号 FI テーコード(参考)
C12G 3/08 C12G 3/08 102

請求項の数 3 審査請求 未請求 0L (全11頁)

(21) 出願番号	2002350732	(71) 出願人	398065531 株式会社ミツカングループ本社 愛知県半田市中村町2丁目6番地
(22) 出願日	平成14年12月3日(2002.12.3)	(71) 出願人	301058355 株式会社ミツカン 愛知県半田市中村町二丁目6番地
		(74) 代理人	100074077 【弁理士】久保田 藤郎
		(74) 代理人	100086221 【弁理士】矢野 裕也
		(72) 発明者	藤山 清一 愛知県知多郡武豊町豊成2-141
		(72) 発明者	小笠原 靖 愛知県碧南市志貴町3-127

(54) 【発明の名称】みりんの製造方法及び該方法によって得られたクエン酸高含有みりん

(57) 【要約】

【課題】本来のみりんの香りを保持したまま、クエン酸含量が多く、みりんの調理機能が向上したみりんを、効率良く製造する方法を提供すること、並びに本来のみりんの香りを保持したまま、クエン酸含量が多く、みりんの調理機能が向上したクエン酸高含有みりんを提供することを目的とする。

【解決手段】みりんを製造するにあたり、米麹として、黄麹のみを用い、若しくは黄麹1重量部に対して生酸性麹を1重量部以下の割合で用いると共に、前記米麹を麹歩合6~15重量/重量の範囲にて使用し、かつ生酸性麹の抽出液を添加することを特徴とするみりんの製造方法、並びに、上記方法によって得られたクエン酸高含有みりんを提供する。

【選択図】 なし